



給食だより



令和7年度
里学校給食センター

美しい5月、さわやかに健やかに！

「目には青葉 山ほととぎす 初がつお」。江戸時代に活躍した俳人、山口素堂の有名な句です。目で、耳で、そして舌で感じる初夏の喜びが表現されていますね。

さわやかな新緑の季節、五感を使ってこの季節さらではの美しさや素晴らしさを感じ、ますます豊かで健やかな学校生活を送りましょう。

今月の給食目標

- きれいな給食着を身につけよう
- 行事食について知ろう

ご家庭での洗濯やアイロンがけなど、清潔な白衣の準備にいつもご協力いただきありがとうございます。
子どもたちは白衣を着て当番活動をする中で、「衛生と安全に注意することの大切さ」を学んでいます。

白衣に腕を通したら、大きな責任背負ってる！



トイレは白衣に着替える前に
すませておきましょう。手は
せっけんを使っていねいに
洗い、清潔なハンカチでき
んとふきとりましょう。

白衣の取り扱いに気をつけ
ます。床の上でたたんだり、
汚れた場所に白衣袋を置い
たりしてはいけません。



給食当番さんには、クラス
のみんなに安全に給食を
届けるという大きな責任が
あります。その自覚をきち
んともちましょう。ふざけ
たり、不衛生なことをした
りしてはいけません。

NG



給食当番さんが白い白衣を着るのは
汚れがすぐにわかるようにする目的
もあります。食べ物を取扱うときは、
清潔な身なりや態度をいつも心がけ
ていきたいですね。



給食で味わう行事食～「端午の節句」～

5月5日は「端午の節句」です。こいのぼりを立てたり、兜（かぶと）や鎧（よろい）を飾ったりします。また、行事食のちまきやかしわもちを食べてお祝いします。これらの飾り物や食べ物には、子どもたちの健康や未来への願いが込められています。給食では行事食のほか、旬の食材をたくさん使った献立を味わいます。楽しみにしててください。

かしわもち



あん入りのもちを柏の葉で包んだものです。柏は新しい葉が出るまで古い葉が落ちないことから、「跡継ぎが絶えない」として縁起物とされました。

ちまき



もち米を笹の葉などで包み、蒸して作ります。中国の故事にならった風習として、日本でも端午の節句によく食べられます。

たけのこ



天を貫くように真っすぐに伸び、成長も早いことから、子どもたちがすくすく元気に育つようにと願いを込めて食べられます。

かつお



名前を「かつお」と読み替え、困難なことに打ち勝ちながら、たくましい人に育ってほしいという願いを込めて食べられます。

しょうぶ湯



葉の形が剣に似ることから、また武芸に精進することを表す「尚武」に通じることから、菖蒲をお風呂に入れて、無病息災を願います。

こいのぼり



鯉が激しい流れの滝を上りきると龍になるという伝説から、難関を突破し、立派な人になってほしいと願います。

かぶと・よろい



命を守る大事な武具です。災いや病気などから守ってくれるように、また武士のように勇ましく育ってほしいと願います。